徳島県職員採用試験（就職氷河期世代）
第1次試験 論文試験について

- 1 出題数 1問
- 2 解答時間 1時間30分
- 3 文字数 約1,000字

4 過去3年間の論文課題

令和6年度

【行政事務】

経済協力開発機構（OECD）の国際調査によると2022年の日本の就業1時間当たりの労働生産性は5,099円でOECD加盟38か国中30位であり、比較可能な1970年以降で最も低い順位となっている。

長時間労働の是正や、慢性的な労働力不足への対応として、労働生産性を高めることは重要である。

労働生産性の向上を図る方策は、業種や職種等によって異なるものであるが、あなたのこれまでの経験を踏まえ、効果的と考える取組について述べなさい。

令和5年度

【行政事務】

少子高齢化やコロナ禍からの経済活動回復等により、全国的に人手不足の状態である。

本県の高校を2023年春に卒業した高校生の県内での求人倍率は2.87倍と過去10年間で最も高くなっており、コロナ禍の影響が薄まる中、今後、都市部への人口流出が再加速すれば、本県の人手不足に一層の拍車がかかることになる。

本県における人手不足解消に向け、どのような取組が必要か、あなたの考えを述べなさい。

令和4年度

【行政事務】

地域課題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、行政のみならず、民間企業や地域住民等の多様な主体との連携や協働により、施策や事業に取り組むことが効果的である。

そこで、これら地域における多様な主体との連携や協働により解決すべき地域課題を挙げ、それぞれの役割や必要性、得られる効果について、具体的に述べなさい。